

親子聖書日課

NO.1831 2023.10/29-11/4 名前

[日]宣教の働きは誰かがしてくれるものではありません。「誰が戦いを始めるのか」とのアハブの問いに、預言者は「あなたです」と答えました。アハブのように気が弱くても、自分にできることを始めてみることです。主が必ず助けてくださいます。

[月]神は平地(この世)では無力だと思っている人はいませんか。主は、山だけの神でなく、「平野の神」全世界を治める天地万物の主です。ですから、どんな問題でも必ず解決の道を備えてくださいますから、まず主の助けを求めて祈りましょう。

[火]先祖ゆずりの地を手放すことは、律法で禁じられていました。信仰をもって断ったナホドの返事にアハブは怒り、遂に殺して奪い取るのです。自分の欲望に負け、主の戒めに従わせないと罪は生まれます。欲望は十字架につけましょう。

[水]出陣前に、まず主のみ心を求めたヨシャファトに倣いたいものです。アハブは4百人の預言者を集めますが、自分の気に入ることだけ預言させます。これでは、心が聞ける訳がありません。預言はむしろ厳しく、受け入れがたい言葉です。

[木]ヨシャファトは主の目にかなう良い王ですが、一つの欠点は、軽々しくアハブ家と交わったことです。そのために、後の世代が重い罰を受けます。人は触れるものに似ます。不信仰な人との交わりは避け、信仰の友との交わりを大切にしよう！

[金]アハズヤがエリヤを呼ぶため、50人隊を遣わしましたが、二組まで焼かれます。彼らはエリヤを「神の人よ」と呼びながら、「王の命令だ。降りて来い」と、王に従わせようとした。次の隊長は、主にへりくだり助かりました。主の命令に従いましょう。

[土]エリシャがエリヤから離れないのは、「エリヤの霊の2つ分」が欲しいからです。これはエリヤの長男、つまり後継者になることです。私達も神の子、主の後継者として伝道する使命があります。主の力に与るために、主から離れないことです。



	聖書	問題	答え
日	列王記上 20:1-21	主が「誰と戦いを始めるのか」と問うと、預言者は何と答えましたか。	
月	20:22-43	我々の方が優勢になるために、どこで戦うべきですか。	
火	21:1-29	ナホドは何をゆずることなど、主にかけて私にはできないと言いましたか	
水	22:1-28	ヨシャファトはイスラエルの王にまず何を求めて下さいと言いましたか。	
木	22:29-54	主の目にかなう正しいことを行ったのは、誰でしたか。	
金	列王記下 1:1-18	3人目の50人隊長はエリヤの前にどうしましたか。	
土	2:1-18	エリシャはエリヤの霊の幾つ分を継がせて下さいと願い出ましたか。	
感想と祈りの課題			